

ダイアン・クライスコレクション アンティーク・レース展

DIANE CLAEYS COLLECTION ANTIQUE LACE

2018年6月12日（火）～ 7月29日（日）

◇展覧会概要

かつてレースは、ヨーロッパの王侯貴族たちの間で富と権力の象徴として流行し、歴史上、常に重要な価値を持ってきました。熟練した職人たちが長い時間をかけて手作業で生み出したレースは、単なる豪華な装飾品の域を超え、時には城や宝石をしのぐほどの価値を持った、きわめて優美で繊細な美の世界だったのです。

本展では、世界的なアンティーク・レースのコレクターで鑑定家でもあるダイアン・クライス氏の数万点にもおよぶ膨大なコレクションから、カトリーヌ・ド・メディシス、マリー＝アントワネット、ナポレオン・ボナパルトといった、王侯貴族に由来するロイヤル・レースや、ファッションやインテリアに取り入れられたレースなど、16世紀から19世紀のレース全盛期の作品を中心に、約170点をご紹介します。

「アンティーク・レース」は、超絶技巧とも言える、現在ではほとんど失われてしまった技術で制作された芸術品です。わたしたちがいま目にするレースとは一線を画す、中近世ヨーロッパの美と技の粋を集めた品々には驚嘆させられることでしょう。

① 《ショール》シャンティリ・レース、19世紀、フランス ©Keita (FLAME)

◇ 展覧会構成

第1章 誕生と変遷

レースは、刺繍の技術を元にした「ニードルポイント・レース」と、房飾りの技術を元にした「ボビン・レース」に大きく分類されます。ニードルポイント・レースは16世紀ヴェネツィアで、ボビン・レースは17世紀のフランドル地方で誕生したと言われてい
ます。第1章では、ニードルポイント・レースの誕生につながるカット・ワークの技法でつ
くられたレースなど、レースの技法の誕生から発展の変遷を、時代を追ってご覧いただき
ます。



②《タイ》グロ・ボアン・ド・
ヴニーズ、17世紀、イタリア
©Keita (FLAME)

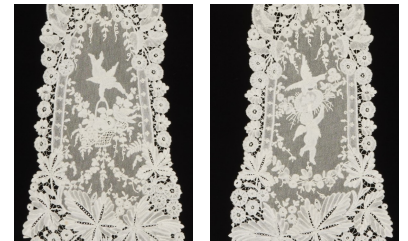
第2章 レースに表現されるもの

技法の発展とともに様々なモチーフを描き出すようになりました。花や蔓や葉などの植物、動物や昆虫や鳥、王
侯貴族から農夫といった人々や、天使や神仏までもがレースの中にあらわれます。これらはレースを美しく飾ると
ともに、それぞれに願いや意味が込められたものでした。絵柄のデザインにはウィリアム・モリスなど当時の優れ
た作家が関わり、多くのパターン・ブックも出されていました。



高い地位の貴族女性のために作られたと考えられている長い
タイ。花のあふれるバスケットと天使（左）は、持ち主の幸
福な青春期を、母鳥が雛鳥に与えるモチーフ（右）は母親へ
の敬意を象徴しています。

③《タイ》デュシェスのついたブラバント・
ヴァランシエンヌ、19世紀後半、ベルギー
©Keita (FLAME)



④《ロイヤル・ウェディングのためのフラウンス
（マリー=アントワネットに由来）》
ドロッシェルグラウンドのブリュッセル・レース、
18世紀後半、フランドル地方 ©Junai Nakagawa

第3章 王侯貴族のレース

16世紀初期に誕生したレースは、瞬く間にヨーロッパ中の宮廷に広まりました。名だ
たる王侯貴族たちはこぞって高価なレースを求め、それに応えるように、職人たちの技
術は向上していったのです。本章では、カトリーヌ・ド・メディシスやマリー=アント
ワネット、ナポレオン・ボナパルト、ヴィクトリア女王らに由来する繊細で華麗なレー
スをご紹介します。



⑤《ハンカチーフ（ヴィクトリア女王に由
来）》リメリック、19世紀、アイルランド
©Hiroshi Abe

第4章 キリスト教文化に根付くレースの役割



レースはキリスト教文化に根付いたもので、洗礼や初聖体拝領、結婚、喪といった人生の
節目の宗教儀式にも用いられてきました。

所蔵者ダイアン・クライス氏の家庭では、1860年の曾祖母の時代
の洗礼式のドレスとヴェール、ボンネットが現在も受け継がれてい
ます。

⑥《洗礼用ヴェール、ドレス、ボンネット》
刺繍とリール・レース（ヴェール）、ヴァラ
ンシエンヌ・レース（ドレス、ボンネット）
19世紀、ベルギー ©Hiroshi Abe

⑦《ウェディング用扇（ハイワードの箱つき）》
ブリュッセル・アプリケーション、19世紀、
ベルギー ©Keita (FLAME)



第5章 ウォー・レース

産業革命や戦争により、手工業のレース文化は大きな打撃をうけました。1914年、第一次世界大戦がはじまり、ベルギーの5万人にも及ぶレース職人たちが困窮しました。それを救うために、のちのアメリカ第31代大統領ハーバート・クラーク・フーヴァーによってベルギー救済委員会が設立されました。彼らによって糸と食料が供給され、レースの維持が図られたのです。この時期のベルギーのレースは「ウォー・レース」と呼ばれています。たくさんの人々の熱意と懸命な尽力によって、ベルギー・レースの技術と伝統は守られたのです。



⑧ 《パネル》ポアン・ド・ヴニーズとパンシュ・レース、1914-18年、ベルギー ©Keita (FLAME)



⑨ 《テーブルクロス》ポアン・ド・パリ、1914-18年、ベルギー ©Keita (FLAME)



第一次世界大戦時の連合国や同盟国のメダリオンが飾られています。上の3国は、左から、モンテネグロ、日本、ギリシャ。

◇会期中のイベント

◎記念講演会

* 無料（要入館料） * 定員80名 * 事前予約の必要はありません

① 「レースは、私の人生そのもの～Lace in My Life」

6月17日（日）午後2時～（約1時間）

講師：ダイアン・クライス氏

（本展監修者、アンティーク・レースコレクター、鑑定家）

② 「21世紀におけるアンティーク・レースの魅力」

6月30日（土）午後2時～（約1時間30分）

講師：百々徹氏（本展監修者、大阪成蹊短期大学教授）

◎担当学芸員によるミニ講座

アンティーク・レースについてのミニ講座。展示会のみどころとレースの装飾文様についてお話しします。

7月16日（月・祝）午後2時～（約40分）

* 無料（要入館料） * 定員60名

* 事前予約の必要はありません

◎担当学芸員によるギャラリートーク

6月22日（金）、7月7日（土）各日午後2時～（約30分）

* 無料（要入館料） * 事前予約の必要はありません

◎ワークショップ

「レースのピルケース作り」

19世紀後半にベルギーで紹介された新しいタイプのクラフトレース「プリンセスレース」でピルケースを作ります。

7月8日（日）午後2時～ * 所要時間：約2時間

* 初心者参加可 簡単な縫う作業があります

* 材料費：2,000円（別途入館料が必要です）

* 定員20名（応募者多数の場合は抽選）

* 往復はがきによる事前申込、締切6月19日（火）必着
〒・住所・氏名・年齢・日中連絡可能な電話番号をご記入のうえ、レースのワークショップ係まで。
1枚のはがきで1名のみ申込可能。

●館内建築ツアー

白井晟一建築の美術館建築を館員がご案内します。

6月15日（金）、22日（金）、29日（金）、

7月6日（金）、13日（金）、20日（金）、27日（金）

各日午後6時～（約30分）

* 無料（要入館料） * 各回定員20名

* 事前予約の必要はありません

◇次回展のご案内

「^ハ涯テノ^{ウタゴエ}詩聲 詩人 吉増剛造展」

2018年8月11日（土・祝）～9月24日（月・休）

◇基本情報

展覧会名 ダイアン・クライスコレクション アンティーク・レース展

Diane Claeys Collection Antique Lace

会期 2018年6月12日（火）～2018年7月29日（日）

開館時間 午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）

※金曜は午後8時閉館（入館は午後7時30分まで）

入館料 一般500（400）円、大学生400（320）円、高校生・60歳以上250（200）円、
小中学生100（80）円

*（ ）内は団体10名以上及び渋谷区民の入館料

*土・日曜日、祝休日及び夏休み期間は小中学生無料

*毎週金曜日は渋谷区民無料 *障がい者及び付添の方1名は無料

休館日 6月18日（月）、25日（月）、7月2日（月）、9日（月）、17日（火）、23日（月）

主催 渋谷区立松濤美術館、産経新聞社

後援 ベルギー大使館

企画協力 imura art planning

協力 近沢レース店

監修 ダイアン・クライス（アンティーク・レースコレクター、鑑定家）

百々 徹（大阪成蹊短期大学教授）

会場 渋谷区立松濤美術館

〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14

電話：03-3465-9421 HP：<http://www.shoto-museum.jp/>

交通案内 京王井の頭線 神泉駅下車徒歩5分

JR・東京メトロ・東急電鉄 渋谷駅下車徒歩15分

お問い合わせ 渋谷区立松濤美術館

広報担当：吉井 (yoshii@shoto-museum.jp)

：西 (nishi@shoto-museum.jp)

展覧会担当：大平 (ohira@shoto-museum.jp)

電話：03-3465-9421 FAX：03-3460-6366

※画像をご希望の場合は、作品名の前にある番号をお知らせください。この他にもご用意できますのでご相談ください。

